

ゴーヘッドズ 速報

Goaheads

第5号 平成25年4月13日

光希攻守に貢献！ 打撃は上向きか

梶原の懸命の走塁が勝利を決めた！

	1	2	3	4	5	6	7	R
R	0	5	0	0	0	0		5
G	0	0	5	0	1	×		6



4/13(土) 横浜レッドロブズ戦を野島公園野球場に出向き、二度目の対戦を行った。今回も勝利を目指す我がチームは、総計139歳のバッテリーで勝負する事を決め、ゲームに入った。先発は幹男、昨年の10/28以来、8試合ぶりの登板である。肝心な最初の入りはストライクから、その後三球で先頭を右飛に斬り、後続二打者も二球の計5球で初回を終えた。その裏は、一死後達脇が右前の安打で出塁、三番哲也の打球は芯を喰ったが、残念ながら野手正面、一塁走者が帰塁出来ずにDPで初回を終えた。均衡は初回のみで、二回はがらっと様相が変わった。この回先頭に安打を喫し、その後二者に連続四球、いきなり無死満塁のピンチと化した。後続の打球は、ホームへの返球が難しい打球、アウトカウントを増やすために、一塁へ送球したが、これが一塁手のエラーにより失点、次打者にはレフトオーバーに運ばれ、更に次打者には三遊間を抜かれ、この回三安打二四球二失策で5点を献上し、久々に苦しい展開となった。三回から政司がマウンドに上がり、出塁を許すものの要所を締めた。我がチームの攻撃は三回に動ききが出る。この回先頭の林が四球を選択し出塁、次打者山田の打球は三ゴロであったが、これを三塁手が二塁へ送球エラー、この間に林が一挙三塁へ進塁、その後山田が二盗を決め、無死二・三塁の場面で政司の打球を、三塁手がトンネルしこの間に1点、先頭に帰り智が四球を選択、無死満塁となったが、次打者の打球はセカンド正面、ホームゲッターを狙ったが、一塁送球が逸れ、この間に二点目。三番哲也のセカンドゴロを相手失策で、この間に三点目、次打者は空三振に倒れたが、今日五番の光希が、センターオーバーの2ベースで二点を返し、この回5点を挙げ、ゲームを振り出しに戻した。翌4回には一死満塁の場面を作ったが、後一本が出ず残塁、しかし、5回には、サード強襲安打で懸命に梶原が一塁を駆け抜け出塁、そして、先程2点タイムリーを放っている光希が今度は右前に運び、梶原がこの間、一挙ホームインし、1点を挙げ、今日のゲームを勝利した。今日のゲームは非常に大味で両チーム合わせて8個の失策、その内容が難しい内容では無い打球の処理や、緊迫した送球のシーンでも無いのに、早急エラーであったりと、やってはいけないプレーのオンパレードだった。また、場面を感じず、サインの見落としも非常に痛い内容である。勝利は出来たが、反省の残るゲームであった。そんな中で、6盗塁は今期最高の数字、サインで走るもよし、単独で走るもよし、進塁を心がけるシーンは、得点に繋がる事は十分に分かった。未だ公式戦はほど遠いが、この勝ち癖をずっと付け、連勝街道を走りたいと思う。